



公共整備基金に  
約二千万を計上

12年度一般会計補正予算の専決処分承認

補正額一千七百六十七万四千円を追加し、歳入歳出の予算総額を三十六億一千二百五十八万八千円にしました。国から交付される地方交付税などの額が確定したため専決処分(議会の権限にかかわる事項を村長が代わって行なうことを認める制度)し、議会の承認を得ました。

歳入の主なものは、普及パイパス建設に伴う村営住宅や立木

補償費の一千二百七十六万一千円、地方消費税交付金五百四十二万四千円などそれぞれ増額しています。

歳入の主なものは、総務費で公共施設等整備基金二千二百七十三万五千円を増額し、農林水産業費でいたけ安定生産振興対策事業の負担金や補助金など合わせて五百二十八万六千円、災害復旧費で12災4号弁天漁港災害復旧工事費四百万などをそれぞれ減額しています。

国保特別会計の  
交付金など承認

12年度国民健康保険特別会計予算の専決処分の承認

補正額二千三十万円を減額し、歳入歳出の予算総額をそれぞれ三億七千八百七十万円にしました。国からの補助金や交付金である国庫支出金や療養給付費交付金(事業実績に対して国から交付されるお金)などの額が決定したため専決処分とし、議会の承認を得ました。

歳入の主なものは共同事業交付金(高額な医療費に対する小規模市町村への交付金)三百六十三万三千円を増額し、国庫支出金一千九百四十四万九千円、療養給付費交付金三百六十一万九千円をそれぞれ減額しました。

黒崎特産品開発研究グループ発足

大豆の有機栽培で  
特産品開発目指す

平成十三年二月一日付で、黒崎特産品開発研究グループ(片座亮一代表)が七人のメンバー



事業導入後、第1回めの「味噌づくり」会合(旧黒崎児童館で味噌づくりを実施研究する施設)

で発足しました。同グループの平均年齢は六十八歳という高齢ですが、黒崎農地開発地への思いは熱く、「農地保全と大豆の生産拡大のため、大豆を作付け自家製の『地味噌』に取り組みながら、希望があれば地域の方々にも食べていただき、将来的には商品化できるようにしたい」と片座代表は目を輝かせて語ってくれました。

同グループでは、大豆の栽培のほかにもフキを原材料に若い人の好みにあつた食品開発や、地区にある小学校(浅野博道校長・児童数十五人)を中心とした地域ぐるみでの世代間交流活動にかける夢は大きい。

「健康に気を配りながら、生



初めての味噌づくりに挑戦

収入に不足生じ  
繰り上げ充用で

13年度休養施設事業特別会計補正予算

一億二千三百六十一万七千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ三億三千七百九十一万七千円にしました。この会計は、国民宿舎くるさき荘と海の家まついそが一緒になっています。

その内訳は、くるさき荘が一億一千百三十九万六千円、まついそが一億二千三百六十一万七千円です。

歳入は営業収入を二億二千三百六十一万七千円増額。歳出で繰上充用金を同額計上しています。

13年度老人保健事業特別会計補正予算

一千二百七十五万八千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ二億七千五百五十八千円にしました。

繰上充用金とは

歳入に不足が生じ、予定の支払いなどができないため、財政上の非常手段として次年度の歳入を繰り上げて、これに充てることをいいます。